

4. 各種合意形成活動の取り組み概要

4-1. 「必要な情報提供、情報伝達状況の確認」の取り組み

(1) 地権者支援情報誌「ふるさと」の作成・発行

1) 取り組みのポイント

地権者に対して、跡地利用に関する行政側の情報や若手の会の活動等に関する情報の提供、また、各種説明会等への参加の促進を目的として、重要な情報発信媒体として地権者支援情報誌「ふるさと」の発行を行う。

また、字別意見交換会の開催前の周知及び開催後の結果報告と若手の会の「土地の共同利用」に対する検討結果の報告、さらに、次年度に実施予定のアンケート調査の周知等を行うこととする。

2) 情報発信の内容

回 数	発送時期	主な掲載内容
第 42 号	平成 28 年 1 月	○告知事項 ・字別意見交換会のお知らせ ○報告・紹介事項 ・アワセゴルフ場地区の関係者との意見交換会の実施報告 ・先進地視察会の実施報告 ・若手の会の活動内容の紹介 ・普天間飛行場跡地利用に関するプロモーションビデオの周知
第 43 号	平成 28 年 3 月	○報告・紹介事項 ・字別意見交換会の実施報告 ・若手の会の共同利用に対する考えの紹介 ・字別意見交換会の主な意見の紹介 ・地主会役員と若手の会の意見交換会の実施報告 ○告知事項 ・アンケート調査実施のお知らせ ・若手の会の参加者募集のお知らせ

「若手の会」の活動が活発化しています。

「若手の会」は平成14年度に発足して以降、毎月1回の定例会において、普天間飛行場跡地のまちづくりに向けた検討に継続して取り組んでいます。
平成27年度は定例会に加えて自主会等も開催し、地権者の土地活用方法の1つである『土地の共同利用』について検討を深めてきました。
字別意見交換会では、「若手の会」の検討状況についてもご説明いただく予定です。



若手の会定例会の様子



平成26年度に作成した若手の会提言パンフレット

※「若手の会」のブログもご覧下さい。(アドレス: wakatekai.exblog.jp)
若手の会の定例会の活動内容や各種情報を掲載したブログを開設しています。
是非一度ご覧下さい。



普天間飛行場跡地利用に関するプロモーションビデオが公開されています。

平成27年3月に沖縄県と宜野湾市が共同で普天間飛行場の跡地利用計画の検討状況をイメージ出来るプロモーションビデオを作成しました。
跡地利用を実現した将来のまちのイメージを映像で視聴出来ます。



これはイメージであり、決定した計画ではありません。

※沖縄県企画部企画調整課ホームページ(下記アドレス)から閲覧することが可能です。
是非一度ご覧下さい。(http://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/chosei/)

【地権者支援情報誌「ふるさと」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 098-893-4401(直通) FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口(宜野湾市基地政策部まち未来課)でも提供しております。
情報収集や跡地利用に係る要望、ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。



ふるさと

vol.42
2016
January
発行
宜野湾市基地政策部まち未来課

地権者支援情報誌「ふるさと」では、普天間飛行場跡地利用に係る最新情報をお伝えします。

平成27年度 字別意見交換会を開催します。 ～ぜひ、皆さんご参加ください～

これまで地権者と行政の直接的な対話の場として開催してきた「地権者懇談会」に変えて、『字別意見交換会』を下記の日程で開催致します。
字別意見交換会では跡地利用計画の策定経過と跡地利用計画の実現のための土地活用方法等について、ご説明を行います。

●内容

- ①計画づくりのこれまでの経緯
- ②跡地利用計画実現のために(地権者の土地活用について)
- ③(仮)共同利用に対する若手の会の考え(案)

●日程

開催日	時間	会場	対象地区
2/4(木)	午後7時～8時30分	宜野湾公民館	宜野湾、佐真下
2/12(金)	午後7時～8時30分	宜野湾市農協会館2階	野嵩、中原、赤道、上原、神山
2/15(月)	午後7時～8時30分	沖縄コンベンションセンター会議棟B	大山、伊佐、真志喜、大謝名
2/18(木)	午後7時～8時30分	喜友名公民館	新城、喜友名
2/21(日)	午後2時～3時30分	宜野湾市立中央公民館2階	全地区

※対象地区は目安ですので、どの会場に越えたいいても構いません。
ご都合の良い日・会場に家族やご近所の地権者の皆様をお誘いの上、奮ってご参加下さい。

重要なお知らせ

●土地の共同利用について

- ・地権者の土地活用として、「自分で使いたい」「売りたい」「貸したい」「保有しておきたい」等が考えられます。
- ・「貸したい」「売りたい」場合に、資産価値の向上や貸しやすさ等の観点から、『土地の共同利用』が手法の1つとして考えられることから、その概要についてご説明させていただきます。

土地の共同利用とは

同じ土地活用意向の地権者が集まることで複数の土地を一体的に利用すること

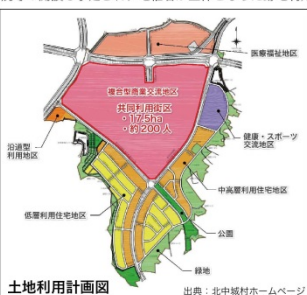
図：地権者支援情報誌「ふるさと」Vol.42(表面)

アワセゴルフ場地区の関係者との意見交換会を実施しました！

去る平成27年9月下旬に、地権者の検討組織である「普天間飛行場の跡地を考える若手の会(以下、若手の会)」とアワセゴルフ場地区の関係者との意見交換会を実施しました。意見交換会の概要等を報告します。

アワセゴルフ場地区の跡地利用の取り組み

平成27年4月に開業したイオンモール沖縄ライカムを核として、今後も中部徳洲会病院等の開設も予定され、地権者が主体となった跡地利用の取り組みが進められています。



土地利用計画図 出典：北中城村ホームページ

・返還：平成22年7月
・アワセ土地地区画整理事業の概要
・北中城村アワセ土地地区画整理組合
・施行面積：約47.9ha
・権利者数：約400人
・施行期間：平成25～31年度



出典：イオンモール瑞穂ホームページ

【意見交換会の結果】

- ・約7割の地権者が返還後も土地を「貸したい」という意向に基づき、大規模な共同利用街区へ大規模商業施設を誘致し、地権者の意向を反映させた跡地利用が進められています。
- ・アワセゴルフ場地区の地権者によって組織された「アワセゴルフ場地区地権者会」と地主会や北中城村等が協力して、早期の土地活用に向けた協力体制のもと跡地利用の取り組みが進められています。



意見交換会の様子

●意見交換会を踏まえた「若手の会」の意見

- ⇒合意形成を進める際、この人の説明なら納得してもらえるというキーパーソンが必要である。
- ⇒アワセは面積が約48haと普天間の10分の1の規模で、地権者数も約400人であるため、普天間飛行場全体ではなく一部に絞って考えた際の参考になる。
- ⇒普天間では地区内に共同利用が複数出来る可能性がある。その際に個人の希望がどれくらい通るのか、橋渡しの役割を担う組織等が必要になるのではないかと。

今後の跡地利用の検討に向けた先進地視察会を実施しました！

去る平成27年12月初旬に、「若手の会」と市民の目線で普天間飛行場跡地及び周辺のまちづくりについて考える組織である「わたのまちベースミーティング」の合同で、先進地視察会を実施しました。視察の概要等を報告します。

視察先①パナソニック汐留ミュージアム(東京都港区)

- 概要：跡地利用の将来のまちづくりをイメージするため、平成27年3月に普天間飛行場跡地利用計画策定調査で策定したVR(バーチャルリアリティ)を3Dで体験しました。



会議室でVRを体験する様子

●視察を踏まえた「若手の会」の意見

- ⇒まちづくりのイメージを視察し、将来のまちを身近に感じられ、参考にすることが出来た。
- ⇒3Dの世界を体験し、鳥になった感覚で将来のまちを見渡すことが出来た。今後、まちづくりに欠かせないツールとして活用していけると感じた。

視察先②みそのウイングシティ(埼玉県さいたま市)

- 地区概要：施行面積：約320ha、権利者数：約1,100人、施行期間：平成12～38年度
- 視察概要：さいたま市の副都心の1つとして大規模区画整理が施行中の地区で、埼玉スタジアム2002や埼玉高速鉄道線の浦和駅を中心にまちづくりが進められています。



駅屋上より埼玉スタジアムを望む

●視察を踏まえた「若手の会」の意見

- ⇒埼玉スタジアムという核があるのに、訪れるお客はまちを素通りしていることが取扱いと感じた。普天間でも大規模公園に集まる人が滞在出来る施設等の計画が必要かと思う。
- ⇒地区内で3つの共同利用が進められていたが、開発が早い街区と遅い街区との不平等が発生したため、その点を反省しながら進めている課題を聞くことが出来た。

視察先③港北ニュータウン(神奈川県横浜)

- 地区概要：施行面積：約1,317ha、権利者数：約5,600人、施行期間：昭和49～平成17年度
- 視察概要：計画的なまちづくりを推進するため、構想・計画・事業の各段階で、地権者・市民、行政・施行者の中で様々な組織が参画してまちづくりが進められました。



駅前共同利用街区

●視察を踏まえた「若手の会」の意見

- ⇒自然の中に綺麗にまちが収まっていた。昔からこの姿があったかのように自然の中に溶け込んでいて不思議に感じた。
- ⇒原風景を残すことが大切と感じた。
- ⇒住んでいる方やまちづくりを考えた方々が、どのようなまちに住みたいか、理想とするまちをつくるということ、考え方のスタートが違っていた。
- ⇒住んでいる人達に対する意識が高く、自分達が住みたくなるよう維持管理にも取り組んでいるように感じられた。

図：地権者支援情報誌「ふるさと」Vol.42(中面)

重要なお知らせ

次年度、地権者の皆様を対象とした 大まかな土地活用意向を把握するための アンケート調査を実施する予定です。

「沖縄県と宜野湾市では「跡地利用計画案」の策定が進められている中、地権者の皆様の現時点の大まかな土地活用意向を把握するためのアンケート調査を次年度に実施する予定です。

地主会や若手の会からもアンケート調査について、以下のお話がありました。

「地主会会長」から皆様へ

自分の大事な財産について、地権者個人の意思表示をする手段はアンケート調査以外にありません。「売りたい」「貸したい」等の意向を示すことも地権者のまじづくりに対する大きな第一歩だと思います。

「若手の会」から皆様へ

「貸したい」「未定」の方々は共同利用の可能性が考えられるため、その可能性をアンケート調査で把握する必要があります。現時点で全ての地権者の皆さんが参加し、協力出来ることがアンケート調査です。地権者一人ひとりの意思を示す貴重な機会であるため、ご協力を若手の会からもお願いします。

地権者の皆様の意向を反映させていくため、跡地利用に向けた取り組みをご理解いただくとともにアンケート調査がお手元へ届いた際にはご協力を宜しくお願い致します。

※地権者アンケート調査の詳細は別途ご案内する予定です。

「若手の会」の参加者を募集しています！

「若手の会」は、普天間飛行場跡地のまちづくりに向けた検討組織として、現在41名で活発に活動しており、毎月1回定期的に会合を開催しています。（毎月第2火曜日の19時30分より宜野湾市役所にて）
地権者や地権者のご家族であればどなたでも「若手の会」のメンバーとなることが出来ます。本会の活動に興味・関心のある方は、宜野湾市基地政策部まち未来課までご連絡ください。

◆女性の方もお気軽にご連絡下さい

定例会の様子



【地権者支援情報誌「ふるさと」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野高一丁目1番1号
電話 098-893-4401（直通）FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口（宜野湾市基地政策部まち未来課）でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る事故、ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。



ふるさと

vol.43
2016
3月 March
発行
宜野湾市基地政策部まち未来課

地権者支援情報誌「ふるさと」では、普天間飛行場跡地利用に係る最新情報をお伝えします。

字別意見交換会を開催しました！

●5日間で合計100名以上の地権者の方々にご参加いただきました。

平成28年2月4日(木)、12日(金)、15日(月)、18日(木)、21日(日)の5日間わたって、「字別意見交換会」を開催しました。

当日は「計画づくりのこれまでの経緯」「地権者の土地活用」の説明後に、「普天間飛行場の跡地を考える若手の会（以下、若手の会）」より、「土地の共同利用」に対する検討結果の発表が行われました。その後、参加者の方々の質疑応答と意見交換を行いました。

●開催日時と参加者数

開催日	時間	会場	参加人数
2/4(木)	午後7時～8時30分	宜野湾区公民館	22名
2/12(金)	午後7時～8時30分	宜野湾市農協会館2階	25名
2/15(月)	午後7時～8時30分	沖縄コンベンションセンター 会議棟B	23名
2/18(木)	午後7時～8時30分	喜友名公民館	11名
2/21(日)	午後2時～3時30分	宜野湾市立中央公民館2階	26名
合 計			107名

多くの地権者の方々にご参加いただき、ありがとうございました。
今後も皆様への情報発信と意見交換の機会を継続して取り組んでいきます。

宜野湾区公民館



農協会館



中央公民館



「字別意見交換会」で「若手の会」より発表された説明内容と、参加者の方からいただいたご意見の一部を裏面で紹介します。

図：地権者支援情報誌「ふるさと」Vol.43（表面）

「若手の会」の共同利用に対する考え がまとまりました！

「若手の会」では地権者の視点で「土地の共同利用」について今年度検討を積み重ね、「夢を実現する土地活用に向けた私たちの考え」がとりまとめられました。その内容をご紹介します。

夢を実現する土地活用に向けた私たちの考え

1. 地権者が夢を描けるまちづくりとまちの魅力を高める

まちの核となる魅力づくりと地権者の有効な土地活用の手法の1つである共同利用について検討

◆共同利用の仕組みに留意すること

1. 核となる魅力づくりのための必要性

（地権者の意向による土地活用の実現）
⇒ネットワーク型の連絡と連携で、まちの核となる魅力を生み出す

2. 地権者の土地活用意向と生活環境向上としての必要性

（雇用創出に代わる収入の確保）
⇒地権者の意向による土地活用の実現

【共同利用の仕組みに関する主な意見】

・大規模公園が魅力的に活用される

・大規模公園と連携し、観光や娯楽のマーケットも見据えて人を引き寄せる

・普天間飛行場にしかないものを活用し、継続して人を集める

・海外も含め、まちの将来像にあった企業誘致

・その時点の最先端のものを取り込んでいく

2. 共同利用の検討経過

◆返還後の地権者の土地活用意向

自己活用したい 貸したい 売りたい

保有して おきたい 現時点では 未定 …

現時点で様々な地権者の土地活用意向が存在

1人1人が 土地活用意向を明確にすることが必要

若手の会の土地活用意向を確認したところ…

・現時点では共同利用に参加したい

・土地を分割して共同利用に参加したい

・良い話があれば共同利用に参加したい

・興味はあるが現時点では判断出来ない

・公共のためなら全部売っても良い など

「貸したい」「売りたい」「未定」の方々は共同利用の可能性が存在

※可能性はアンケート調査による把握が必要

3. 共同利用についての検討結果

地権者にとって、共同利用でこのようなことが考えられるか

◆地権者が集まって共同利用を行うことで…

「土地活用の選択肢を拡大」

「まちの魅力づくりに結びつけられる」

地権者の判断材料となる期待や不安等を検討

期待
○資産価値の向上
○組織で動くことによる安心感
○小規模跡地の有効活用
○まち全体の付加価値の向上

不安
○関係者等をとりまとめる負担
○自己活用出来ない
○出店企業の撤退リスク
○相続等によるトラブル

今後 検討が必要

4. 夢を実現する土地活用のために

※共同利用は土地活用可能性の1つ

多くの地権者が共同利用に協力することで、土地活用の可能性が広がる

○様々な意向のチームづくり

・意向に沿って共同利用の意向を

○売却も含めた共同利用の可能性

・売却希望をまとめる方法（相対的なリスクもある）

○地権者の協力による可能性が広がっていく

・地権者による土地管理組織の設立の検討

若手の会は、地権者が参画する様々な可能性を引き続き検討していきます。

地権者が夢を描ける跡地利用の実現に向け、地権者相互に協力していきます。

アンケート調査は地権者の意思を示す重要な機会のため、皆様のご協力を宜しくお願いします。

「字別意見交換会」でいただいた ご意見を紹介します。

「字別意見交換会」で参加者の方からいただいた、跡地利用計画の進捗や土地活用等に関する質問や意見の内容について、一部をご紹介します。

■意見交換の主な内容

●跡地利用の検討の具体化に向けた懸念等

・公園・緑地が大きな割合を占めるが、維持管理方法や土地の買い取り又は借地等についてどのように考えられているか。

・土地の共同利用へデパート等が出店後に撤退してしまった場合、地権者が自分達で区画整理や売買等を行わなければならないか。

・オンライン化の借地料などのように決められ、現時点でいくらののか。

●計画づくりと地権者の合意形成

・早期のまちづくりは皆が希望することであるが、道路や公園等に減少で土地を提供する話を理解出来なければまちづくりへの協力も難しいと思う。

・今後計画が熟慮まっていく中で、地権者の意向が組織的に反映される仕組み等は検討されているか。

●その他跡地利用全般について

・跡地利用を進める際に汚染物質や不発弾等どのように調査を行い、改善されていくのか。

・新聞等でディズニーランドの計画が報じられていたが、ディズニーランドが出来たのであれば現在の計画は関係なくなってしまうのではないのか。

・沖縄の人は素晴らしい歴史を持っており、沖縄のアイデンティティを見える化した街並みの実現に取り組んで欲しい。

地主会役員と「若手の会」との 意見交換会が行われました！

去る1月28日(木)に、宜野湾市農協会館において、地主会役員と「若手の会」との意見交換会（宜野湾市軍用地等地主会主催）が行われました。

意見交換会では「字別意見交換会」に先立って、「若手の会」から「夢を実現する土地活用に向けた私たちの考え（案）」の発表が行われ、その後に意見交換を行いました。

■意見交換の主な内容

・まずはどのようなまちづくりを進めるのか、そのために必要なことを行おうと全部整理していかないと地主は動きようがないのではないのか。

・地権者各々が利活用を行うことで虫食い状態のまちになってしまわないように、若手の会は土地活用の手法の一つとして共同利用を勧奨しており、良いまちをつくるために皆で協力して検討していければと考えている。

・現在は財産を持っているのでどうしようかと考えている地主の方もいらっしゃるが、組織して子孫の代にあればその人達の意向に任せることになるのではないかと考える。

意見交換会の様子



図：地権者支援情報誌「ふるさと」Vol.43（中面）

(2) 「まち未来だより」の作成・発行

1) 取り組みのポイント

市民を対象とした、情報誌「まち未来だより」による情報提供を行い、情報発信媒体としての確立を目的とする。情報誌による情報提供にあたっては、跡地利用に関する情報だけでなく宜野湾市全体のまちづくりに関する情報をわかりやすく提供することで市民が親しみを感じられる情報誌となることに留意する。また、「まち未来だより」の発行によって、跡地利用に向けた現在の進捗状況等に関する情報提供を行うとともに、NB ミーティングの認知度向上に向けた活動の周知や市民のまちづくり機運向上を目的に実施した「まち歩きとまちづくり座談会」等の周知等を行うこととする。

2) 情報発信の内容

回 数	発送時期	主な掲載内容
第3号	平成27年11月	○報告・紹介事項 ・「NBミーティング」の紹介 ・「NBミーティング」の我如古区まちあるき活動の報告 ○告知事項 ・自治会を対象とした「まち歩きとまちづくり座談会」実施のお知らせ ・市民を対象とした「世代交流まちづくりゆんたく会」実施のお知らせ ・学生を対象として「学生円卓会議」実施のお知らせ
第4号	平成28年3月	○報告・紹介事項 ・野嵩1区、喜友名区、真栄原区を対象に実施した「まち歩きとまちづくり座談会」の実施報告 ・「世代交流まちづくりゆんたく会」の実施報告 ・「学生円卓会議」の実施報告

みんなで考えよう！宜野湾市の夢のあるまちづくり

vol.03

2015 Nov 発行

まち未来だより

宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場跡地利用を始めとした宜野湾市のまちづくりに係る最新情報をお伝えします。

様々な取り組みを通して将来のまちづくりを考えていきます。

普天間飛行場跡地周辺の宜野湾市のまちづくりは、「地権者」の問題と認識されがちですが、跡地利用を成功させるためには、跡地周辺の地域と一体となった整備が必要であるため、市民のみなさまの協力が必要不可欠となります。そこで、跡地周辺も含めた夢のあるまちづくりに向けた第一歩として、今年度は以下の取り組みを予定しておりますので、多くのみなさまの参加をお待ちしております。

【今年度の取り組み予定】

12月 まちあるきとまちづくり座談会開催！

昨年度実施地区

上大謝名区



まちあるき

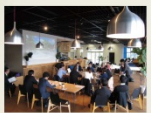
宜野湾区



まちあるき

昨年度から自治会単位で跡地周辺の身近なまちを歩き、日常では気づきにくい様々な発見を通して、今後の跡地利用に繋げて行くため、「まちあるきとまちづくり座談会」を開催しております。昨年度は、上大謝名区、宜野湾区で実施し、日常生活の中では気づかない部分について意見や提案を頂きました。今年度も自治会の協力のもと取り組み予定です。また、開催が決まりましたらホームページ等でお知らせします。

1月（仮称）全世代ディスカッション開催！



ディスカッションの様子

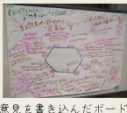


ディスカッションのまとめ

跡地のまちづくりは宜野湾市の今後のまちづくりに大きな影響を与えるものであり、世代間を超えて考える必要があることから、跡地利用に対する市民の関心の向上を図るきっかけづくりとして昨年度に引き続き開催いたします。

図：「まち未来だより」vol.3（表面）

2月（仮称）Youth Conference Okinawa2016

昨年度に引き続き宜野湾市の将来のまちづくりを担う高校生、大学生を招き、各学生の意見交換を通して、跡地利用に対する関心の啓発を図ります。

ねたてのまちベースミーティングの今年の取り組みをご紹介します。

●ねたてのまちベースミーティングとは・・・

平成18年度に発足した「普天間飛行場跡地利用に関する市民合同勉強会」が前身となります。発足時のメンバーは、市内各種団体からまちづくりに関心を持つ職員等を中心に活動を開始しました。平成19年3月には、会の名称を現在の「ねたてのまちベースミーティング」（通称：NBミーティング）と決定し、市民公募を行いメンバーの枠を広げ、周辺市街地のまちづくりを含めた普天間飛行場の跡地利用を考える事を目的に、定例会で意見交換や対外的な取り組み活動を行っております。

●我知古区まちあるき

今年の対外的な取り組みとして、団体間の繋がりの拡大と飛行場周辺の街並みの状況について知る事を目的に我知古区のまちあるきを行いました。

【まちあるき参加者からの感想】

- ・川があらにこちらにあり水の豊かさを感じた。
- ・名前を知っていたけどヒーローやビル良川など今初めて現場を歩いて、新しい発見があった。
- ・分かっていないけれど何かなにか分らないという状況があり、私と同じように地元に居るけど分らない人が結構居ると思う。もう少し文化野心的な地元のアピールや場所、保存を行ってほしい。
- ・ずっと住んでいても地域の方にお話を聞かないとわからない事があったことと、この様な事（NBミーティング）がないと実際に歩いて見る事は多分なかったと思う。早く貴重な体験をさせて頂きたいと思う。

●NBミーティングに参加してみませんか？

NBミーティングに参加して、普天間跡地のまちづくりについて考えてみませんか？宜野湾市内在住、又は宜野湾市内勤務・修学の方であればどなたでも参加可能です。あなたの意見や考えを、ぜひ私達にお聞かせください。あなたの考えが、宜野湾市のより良いまちづくりへと繋げる第一歩となります。

【宜野湾市 まち未来課 インターネットホームページ内NBミーティング紹介】
http://www.city.ginowan.okinawa.jp/sisei/base/02/29127_507.html

【NBミーティング活動紹介ブログ】
<http://netate.seesaa.net/>

現在、毎月第3火曜日夜7時から宜野湾市役所において定例会を開催中です。

※参加を希望される方は下記連絡先までご一報をお願いします。

【「まち未来だより」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
 〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
 電話 098-930-4401（直通） FAX 098-932-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口（宜野湾市基地政策部まち未来課）でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望、ご意見を述べるとしてお気軽にご活用ください。

図：「まち未来だより」vol.3（裏面）

みんなで考えよう！宜野湾市の夢のあるまちづくり

vol.04

2016 Mar 発行

まち未来だより

宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場跡地利用を始めとした宜野湾市のまちづくりに係る進捗状況をお伝えします。

様々な取り組みを通して将来のまちづくりを考えていきます。

普天間飛行場跡地周辺の宜野湾市のまちづくりは、「地権者」だけに限られてくるものだと認識されがちですが、跡地利用を成功させるためには、跡地周辺の地域と一体となった整備が必要であるため、市民のみなさまの協力が必要不可欠となります。そこで、跡地周辺も含めた夢のあるまちづくりに向けて、今年度は以下の取り組みを行いました。

【今年度の取り組み】 まちあるきとまちづくり座談会開催！

野嵩1区

開催日時：平成27年12月12日（土） 13:30～16:30
 参加者数：12名（野嵩1区自治会員）






喜友名区

開催日時：平成28年1月16日（土） 13:30～16:30
 参加者数：18名（喜友名区自治会員、学生円卓会議登録学生）






真栄原区

開催日時：平成28年2月13日（土） 13:30～16:30
 参加者数：17名（真栄原区自治会員）






自治会単位で跡地周辺の身近なまちを歩き、日常では気づきにくい様々な発見を通して、今後の跡地利用に繋げて行くため、各自治会の協力のもと「まちあるきとまちづくり座談会」を開催しております。今年度は、野嵩区、喜友名区、真栄原区で実施し、日常生活の中では気づかない部分について参加者の皆様から意見や提案を頂きました。

図：「まち未来だより」vol.4（表面）

世代交流まちづくりゆんたく会開催！

宜野湾市中央公民館展示室 開催日時：平成28年1月30日（土） 13:00～16:00
 参加者数：20名






跡地のまちづくりは宜野湾市の今後のまちづくりに大きな影響を与えるものであり、世代間を超えて考える必要があることから、跡地利用に対する市民の関心の向上を図るきっかけづくりとして宜野湾市と（※）ねたてのまちベースミーティングを開催しました。

普天間飛行場跡地利用 学生円卓会議

沖縄コンベンションセンター 開催日時：平成28年2月27日（土） 13:00～18:00
 参加者数：39名（学生の登壇者11名、オブザーバー28名）






宜野湾市の将来のまちづくりを担う若い大学生を招き、各学生の意見交換を通して、普天間飛行場跡地利用に対する関心の啓発を図るために宜野湾市と（※）ねたてのまちベースミーティングを開催しました。

ねたてのまちベースミーティング

平成18年度に発足した「普天間飛行場跡地利用に関する市民合同勉強会」が前身となります。発足時のメンバーは、市内各種団体からまちづくりに関心を持つ職員等を中心に活動を開始しました。平成19年3月には、会の名称を現在の「ねたてのまちベースミーティング」（通称：NBミーティング）と決定し、市民公募を行いメンバーの枠を広げ、周辺市街地のまちづくりを含めた普天間飛行場の跡地利用を考える事を目的に、定例会で意見交換や対外的な取り組み活動を行っております。

●NBミーティングに参加してみませんか？

NBミーティングに参加して、普天間跡地のまちづくりについて考えてみませんか？宜野湾市内在住、又は宜野湾市内勤務・修学の方であればどなたでも参加可能です。あなたの意見・考えをNBミーティングへお聞かせください。あなたの意見・考えが、宜野湾市のより良いまちづくりへと繋げる第一歩となります。

【宜野湾市 まち未来課 インターネットホームページ内NBミーティング紹介】
http://www.city.ginowan.okinawa.jp/sisei/base/02/29127_507.html

【NBミーティング活動紹介ブログ】
<http://netate.seesaa.net/>

現在、毎月第3火曜日夜7時から宜野湾市役所において定例会を開催中です。

※参加を希望される方は下記連絡先までご一報をお願いします。

【「まち未来だより」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
 〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
 電話 098-930-4401（直通） FAX 098-932-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口（宜野湾市基地政策部まち未来課）でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望、ご意見を述べるとしてお気軽にご活用ください。

図：「まち未来だより」vol.4（裏面）

(3) ホームページの充実化

1) 取り組みのポイント

市外・県外に対して広く普天間飛行場跡地利用に関する取り組み状況等の周知方法として、跡地利用に係る行政側からの情報や若手の会、NB ミーティングの活動状況等の情報を提供するため、まち未来課のホームページの充実化を図るものとする。

2) 主な情報更新内容

- ・ 本業務の内容
- ・ 今年度の取り組み経過
- ・ 若手の会の活動状況（今年度の活動概要、活動年表の更新等）
- ・ NB ミーティングの活動状況（今年度の活動概要等）
- ・ 地権者支援情報誌「ふるさと」第 42～43 号をバックナンバーとして掲載
- ・ まち未来だより第 3～4 号を掲載